



学校
だより

泊っ子

第35号

令和3年 1月19日
那覇市立泊小学校
校長 田名 真利
TEL : 917-3307
FAX : 917-3347

〈泊っ子像〉夢に向かって たくましく生きる子

①よく考え進んで学習する子（知） ②心豊かで思いやりのある子（心） ③健康で明るい子（体）

今日から「個人面談」が始まります！

本日19日（火）～22日（金）の4日間、泊小学校は「個人面談」を実施します。個人面談は、

- 1 児童一人一人の学習状況、生活状況等をお知らせし、保護者のニーズに応えるようにする、
- 2 担任は児童の良いところを多く見つけ、褒め・励まし、保護者とともに導いていこうとする姿勢で臨む。
- 3 児童の成長や進級までに身に付けたい学習や生活についてお知らせし、円滑な進級が迎えられようようにする。

ことをねらいに行います。何かと多忙な時期ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

わが泊小学校、【令和2年度】トリプル受賞！

- ☆日本PTA全国協議会会長賞（団体の部）
- ☆九州ブロックPTA協議会会長賞（団体の部）
- ☆沖縄県PTA連合会会長賞（個人の部）島袋みほ会長

1月17日（日）の13：45より、豊見城中央公民館で「第62回沖縄県PTA研究大会（島尻大会）」に参加しました。

全国的に【コロナ禍】の状況であります。沖縄県は「緊急事態宣言」が発出されていないということで開催に踏み切り、また本校は今年度、「日本PTA全国協議会会長賞（団体の部）」「九州ブロックPTA協議会会長賞（団体の部）」、また島袋会長が「沖縄県PTA連合会会長賞（個人の部）」を受賞することから、大会に参加しました。全体会は「表彰式」がメインでしたが、「日P」と「九P」の2つの団体賞を受賞した泊小学校は、やはり参加者の注目を集めていました。

大会に参加しての感想は、泊小学校PTA活動の素晴らしさを改めて実感するものでした。島袋会長始め、役員の皆様、会員の皆様、受賞本当におめでとうございます。

【泊小学校PTA経歴】

PTAの設立は昭和35年6月で、昭和50年には「優良PTA文部大臣賞」受賞、平成21年には「那覇市PTA連合会長賞」、平成22年度には「九州PTA連合会長賞」、平成23年度は「日本PTA連合会長賞」を受賞、さらに昨年度は「優良PTA文部科学大臣賞」を受賞するなど、本校の活動は高く評価されてきた。

【泊小学校PTA活動実績】

全会員が一人一役で、専門部の一員として登録され、各専門部の活動は活発である。また、会長並びに副会長は、PTA活動に対する意識が高く、各専門部の顧問として諸活動が円滑に実施されるよう助言等を行っている。

10の専門部全てが、学校・地域と連携した活動を行っており、「子ども達の健やかな成長」もさることながら、学校と地域の連携を図る要としての活動にも目を見張るものがある。〔総務部だよりの発行、学校正門の掲示物作成年5回）、泊地域まつりの手伝い、PTA広報誌の作成（年3回）、青少協の活動、地域行事への参加（那覇ハーリー、那覇大綱挽き）、校内環境精美〔PTA作業（年3回）、植栽、ビオトープ、土日・祝日の灌水）、ベルマーク回収、子ども会育成、スクールゾーン（立哨活動）、学年学級行事（前年度での学級役員決め）等〕また、楽しく・学びのあるPTA活動を目指したレク的な活動もあり、PTA活動の望ましい姿が体现されていると感じる。

【泊小学校PTA活動実績顕著と認める事項】

○新都心地区が開発され、学校周辺の道路も交通量が急増して危険が増している現状があるが、PTA（スクールゾーン委員会）が行政への要請等を行い、危険箇所への信号機の設置や安全策の設置が実現した。その後も、PTA会員による毎朝の立哨活動により子ども達が安全に安心して登校できる状況をつくっている。

○平成29年度に那覇市に「防犯灯設置要望書」を提出し、平成30年度那覇市の補助金により7機の防犯灯が設置され運用が開始された。

○平成30年の5月には、児童見守り安心システム「ツイタもん」を導入した。

○環境整美に関しても、「花いっぱい運動」や「ビオトープ（オオゴマダラの生育）の整備」「ヤゴを救おうプロジェクト」を行い、環境教育に資する活動を実践している。